

令和2年度第6回大分市総合教育会議 議事録

1. 日 時 令和3年2月19日(金) 10:00～11:10

2. 場 所 議会棟4階 全員協議会室

3. 出席者

○総合教育会議構成員

大分市長	佐藤 樹一郎
大分市教育委員会教育長	三浦 享二
大分市教育委員会委員	古城 和敬
大分市教育委員会委員	上杉 美穂子
大分市教育委員会委員	古城 一
大分市教育委員会委員	岡野 涼子
大分市教育委員会委員	佐藤 光好
公益財団法人すみれ学級 理事長	藤井 富生
公益財団法人すみれ学級 理事	安部 ノリ子

○事務局

企画部長	伊藤 英樹	教育部長	佐藤 雅昭
子どもすこやか部長	藤田 恵子	教育監	高橋 芳江
企画部審議監	広瀬 正具	教育部審議監兼文化財課長	坪根 伸也
企画部審議監兼スポーツ振興課長	三好 正昭	教育部次長	桑野 徹
企画部次長	高橋 賢次	教育部次長兼社会教育課長	村上 雄二
企画部次長兼企画課長	小野 晃正	教育総務課長	高田 隆秀
市民部次長兼市民協働推進課長	安部 啓治	学校施設課長	新納 健二
土木建築部次長兼住宅課長	清水 誉之	体育保健課長	清水 篤
国際課長	渡邊 裕美	人権・同和教育課長	河野 正行
障害福祉課長	永田 浩貴	教育センター所長	佐藤 義仁
生活福祉課長	秦 尚裕	美術振興課長	長田 弘通
健康課長	中宗 三和子	学校教育課参事	小野 征司
子育て支援課長	横川 幸一	教育総務課参事	梶取 隆之
保育・幼児教育課長	井上 たかし	教育総務課参事補	黒木 眞由美
公園緑地課長	定野 伸二	教育総務課参事補	三嶋 みどり
子育て支援課政策監	田崎 敢	教育総務課主任	園田 哲也
長寿福祉課参事補	青木 昌美		
企画課参事補	足立 威士		
企画課主査	高橋 和志		

4. 次 第
- (1) 開 会
 - (2) 議 事
 - ①子どもの貧困対策について
 - ②令和2年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業報告について
 - (3) 閉 会

開会 企画部長	<p>皆様、おはようございます。</p> <p>定刻より若干早いですが皆様お揃いですので、ただいまから、令和2年度第6回大分市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>会議の進行を務めさせていただきます、企画部長の伊藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでははじめに、本会議の議長であります、佐藤市長からご挨拶申し上げます。</p>
市長	<p>おはようございます。第6回大分市総合教育会議にご出席いただき誠にありがとうございます。本年度の総合教育会議は、新型コロナウイルス感染症対策やGIGAスクール、それからキャリア教育などについて議論し、キャリア教育については岡野委員からご講演いただきました。さらに、前回のいじめ問題等、さまざまな課題に関しまして、貴重なご意見をいただいたことに改めて感謝申し上げたいと思います。</p> <p>新型コロナに関してですが、陽性者の数が少し減ってきておりますが、引き続きしっかりとした対応を進めていかなければならないと考えております。また、幸いなことに、小学校、中学校、幼稚園それから保育所等でクラスターが発生するという状況は今のところ起きておりません。これは、現場の方々の努力のおかげだと思っております。また、ワクチンについてですが、大分におきましても、2月には3つの病院で試行的に実施しまして、3月は医療関係者や保健所の職員に接種が行われます。一般向けについては、4月の半ばから後半にかけて、まず高齢者の方々から接種を始めるということで、市役所の中に9人のチームを作って接種券の配布等の事務や、病院との調整等を進めているところでございます。</p> <p>さて、今日の議題でございますが、一つ目が「子どもの貧困対策」となっております。これは重要な課題でございます、本日は有識者として、子ども食堂を運営しております、すみれ学級の藤井富生理事長様、そして理事の安部ノリ子様にお越しいただいております。後ほどお話をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>

<p>企画部長</p>	<p>そして二つ目は、教育大綱・教育ビジョンの関連事業ということで、今年度の事業についての報告をする予定でございます。限られた時間でございますが、よろしく願い申し上げます。</p> <p>それでは、早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本会議の議長であります佐藤市長をお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは一つ目の議事「子どもの貧困対策について」ですが、まずは事務局から子どもの貧困対策に係る取組を説明しまして、その後、藤井様と安部様にお話をいただきたいと思っております。まず、事務局からお願いいたします。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>子育て支援課長の横川です。</p> <p>「議事1子どもの貧困対策について」、子どもの貧困対策に係る取組についてご説明させていただきます。</p> <p>A3横の資料、「子どもの貧困対策に係る取組」をご覧ください。</p> <p>まず、「1. 子どもの貧困対策に関するこれまでの経過」ですが、平成26年1月に子どもの貧困対策の推進に関する法律が施行されてからの大きな流れを記載しております。</p> <p>この中で、平成31年3月の「大分市子どもの生活実態調査報告書」について、ご説明させていただきます。</p> <p>この調査では、大きく2つの調査を行っており、1つ目が「子どもの生活実態調査」で、調査対象は、未就学児の保護者、小学5年生・中学2年生の児童・生徒及びその保護者です。</p> <p>この調査における生活困窮世帯の割合については、16%という結果がでております。</p> <p>2つ目の調査は「子どもの支援機関に対する資源量調査」で、調査対象は、市内の保育所、小・中学校、子ども食堂等の子どもや家庭への支援に関わっている機関です。</p> <p>このような調査を行う中、資料の3点目にあげておりますように、集計結果から8つの課題が明らかになりました。</p> <p>その後、令和元年9月に子どもの貧困対策の推進に関する法律が改正されたことを受けまして、令和2年3月に策定された第2期すくすく大分っ子プランの施策の体系に、新たに「子どもの貧困対策の充実」を位置づけ、法律に基づく貧困対策計画としたところでございます。</p> <p>資料の2枚目、別紙1をご覧ください。</p> <p>この表は、大分市すくすく大分っ子プランから抜粋したのですが、</p>

	<p>資料の赤枠で囲っている部分、分野3配慮を要する子どもへの支援の目標8として、子どもの貧困対策の充実を新たに掲げました。</p> <p>1枚目の資料にお戻りください。</p> <p>資料の右側、2点目の子どもの貧困に関する推進体制についてでございます。</p> <p>本市では、庁内を横断する組織として関係4部9課で構成する「子どもの貧困対策専門部会」を設置しております。構成については資料の図のとおりでございますが、この専門部会において、子どもの貧困対策に関する事業について関係部局間の連携を図っております。</p> <p>子どもの貧困対策に関する主要事業については、3枚目の資料、別紙2をご覧ください。</p> <p>詳細は後ほど、ご覧いただければと思いますが、主要な事業につきましては、本市における子どもの貧困に関する課題に応じた8つの施策に分類して、事業を推進しております。</p> <p>1枚目の資料にお戻りください。</p> <p>3点目の子ども食堂に関する取組でございます。</p> <p>近年、子どもを取り巻く環境が多様化する中、一人で食事をとったり、夜遅くまで一人で過ごす子どもが増えており、こうした子どもたちを対象に、食事の提供や、安心して過ごせる場を提供する子ども食堂が全国的に広がっております。</p> <p>このような状況のもと、本市では大分市子どもの居場所づくりネットワーク推進事業を実施しております。</p> <p>子どもの生活実態調査の支援機関に対する資源量調査において、支援機関等から子どもとのかかわり方に関する課題や、子どもを預かる場が必要であるとする意見などが多く寄せられました。</p> <p>このような状況を受け、本市においても本日、お見えになっているすみれ学級さんをはじめとする子ども食堂の取組が広がる中、その活動を支援するため、令和元年10月から大分市子どもの居場所づくりネットワーク推進事業を実施しているところでございます。</p> <p>事業の内容につきましては、大きく2点ございまして、1点目は子どもの居場所づくりネットワークの形成です。このネットワークにおきまして、研修会及び意見交換会、また、「おおいた農業塾」で収穫された農産物の配布を行っております。</p> <p>2点目として子どもの居場所づくり事業を行う団体への補助などを行っております。</p> <p>子どもの貧困対策に係る取組につきましては、以上でございますが、本日は参考資料といたしまして、子どもの貧困対策関連事業を紹介する</p>
--	---

<p>市長</p>	<p>パンフレットである、「心配ごとや困りごとはありませんか？子育て世帯の皆様へ」と書かれましたパンフレットを配布させていただいておりますので、後ほど、ご確認いただければと思います。説明は以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、藤井様、安部様から子ども食堂の取組や、生理用品の無償配布の取組につきましてお話をお願いします。</p>
<p>藤井氏</p>	<p>すみれ学級につきましては、お配りしました冊子とすみれ学級通信を読んでもいただければ幸いです。すみれ学級の食事提供数ですが、昨年度は11, 238食であり、今年度は9, 194食となっております。これは、新型コロナの影響で高齢者が運営している子ども食堂の一時閉鎖や別府のはるかぜ教室が2ヶ月間に渡って中止していた影響でございます。</p> <p>それと、生理用品についてですが、児童生徒に対して、国や市町村が配布することは世界的な流れでございます。その点については、安部理事の方から報告させていただきます。その上で、私がなぜこの生理用品の配布を実行に移したのかについて、話をさせていただきます。</p> <p>2018年8月に社会福祉協議会に招かれまして、すみれ学級のことについて報告させていただきました。そのときに、筑紫女学園大学の准教授が講師に招かれておりました。その講師が講演した後、私が2、3日前のニュースで、イギリスでは10人に1人が生理用品に困っていて、他の国でも同じようなことがあることを知り、准教授にこんなことがあるのですかと聞いたところ、「あります」という回答がありました。最近では、長崎のコンビニで10歳の少女、小学校4年生が生理用品を万引きして補導されたという情報もありますが、私はびっくりしました。万引きが悪いのは分かっています。しかし、保護者が生理用品を買うお金を渡していなかったという問題があったかもしれません。この少女がどういう精神的打撃を受けたかということについて、私は考えました。生理なんかなければ良かった、何で自分は女の子に生まれたのだろうかなどを考えたのかもしれません。多感な年頃の子どもが心に傷を負う。本当ならこの子にどういう未来があったのかと考える中で、私は島崎藤村の「初恋」という歌を思い出したのです。「まだあげ初めし前髪の林檎のもとに見えしとき前にさしたる花櫛の花ある君と思ひけり」。こういう華やかな未来をもぎ取ってしまったのではないかと思うと、本当に痛恨の思いがします。この現実に対して立ち向かわなければならないという</p>

<p>安部氏</p>	<p>ことで、私はすみれ学級やすべての女子児童生徒に対する生理用品の配布を始めました。配布した生理用品を返してきた人は1人しかいません。その子は、「うちはいいから他の人にあげなさい」と保護者から言われて持ってきたと言っていました。</p> <p>それとこの前、三重町であったことですが、朝ご飯を食べに来ていた中学生くらいの女子生徒が、顔を赤らめて下を向いていたので、あとから別の人に聞くと、「あの子はだいたい月の始めにここが生理用品を配布することを知っていて、もらいに来きています。」と言っていました。そういう実態があるということです。私の話は以上です。</p> <p>私は、すみれ学級の理事をしております安部ノリ子といます。もう一つの肩書は、大分県退職現職女性管理職等の会、通称「いずみ会」という会の会長です。大分県内の小中学校の校長、教頭さんたちそして校長、教頭であった退職者546名が会員で、大分市は120名ほどいます。この会は長いのですが、昭和33年に泉が湧き出るが如く女性管理職を増やしたいという思いで、先輩たちが名づけた会です。現在、その会長をさせていただいておりますので、その辺りにも触れながらお話をさせていただきますと思います。</p> <p>今日はこのような重要な会議にお招きいただきまして感謝申し上げます。時間が短いですが、できるだけ思いを伝えて参りたいと思います。</p> <p>実は、2年くらい前に藤井理事長から生理用品に困っている女子小学生、中学生がいるので各学校に無償配布したいという相談を受けました。その時私は、困っている子を特定して配ると差別の助長になるのではないかなど、非常にデリケートな問題なので、配られたその子が傷つかないかなということをお答えしました。しかし、答えながら、私はこれまで生理や生理用品について考えてこなかったことを本当に反省しました。</p> <p>また、私がいずみ会に関わることになった話ですが、1975年の国際女性年の、2、3年後から大分県で女性の地位向上のための取組が高校の女性の先生たちによって始まり、それが全国に広がりました。私も1977、8年くらいから、この女性の地位向上、それから女性差別撤廃のための取組を行ってきました。そして、学校では「性の自立」ということを実践してきました。性教育も行ってきました。しかし、生理用品に困窮している人がいるということに気付かなかったのです。そのことを理事長に話しました。そういうことなら、とにかくすみれ学級の子どもたちからでも始めますということでスタートしました。</p> <p>今年の1月になって、理事長から「今年の8月に大分市の3つの学校</p>
------------	---

に900ほど生理用品を配ったあと、何の反応もないので、ちょっと調べてくれないか」とお話がありました。配ったのはすみれ学級1組の周辺の学校で、ここは大分大学の経済学部の学生さんたちが学習指導に来ています。昨年、このすみれ学級1組の子どもが高校進学しましたが、12名中11名が高校へ進学しました。その子たちがすみれ学級に来た当時は小学校5年生ぐらいで、家庭では1人で食事をする機会が多く、学習面や生活面での課題もありましたが、本当に学習にも取り組むようになりました。

すみれ学級1組は敷戸にございますが、その周辺の3つの学校に900ほど生理用品を配布しましたので、聞き取り調査を行いました。

私たちが聞き取りを行う中で感じたのは、5年生、6年生が宿泊体験の時に行く、生理のことを指導する生理学習の際に、生理用品の実物を全員に配ることが出来たという声です。これは教育効果が上がると思います。ただ、私がかんがしさを感じたのは、全員に配るので貧困の子にも届く取組であると思いますが、1回きりになるということです。

また、私が学校現場にいるときは、小学校1年生から性教育をやっていましたが、子どもの生理について、学校現場で十分に捉えられているかということが非常に気になり、組織的にしっかりやっていかなければということで、理事長と二人で3つの学校に行きました。すみれ学級は昼用2袋、夜用1袋、少ない日用1袋の計4袋を1セットとして、60セットを配布しましたが、これについて「良い」とおっしゃっていました。学校では校長が生理用品に困って、きつい思いをしている子に寄り添っており、「本当にこの取組は助かります」とおっしゃっていました。しかし、「自由に取っていいよと言うためにはもう少し欲しいです」といった話もありましたので、早速次の日に8セットほどなんとか用意し、すぐ持って行きました。

それから、別の校長は「私はこういうところまでは十分に勉強していませんでした」との話がありました。これからその辺をとりわけ頑張りたいと思うということと、女性管理職の仲間につきり話しながらこの問題をしっかり捉えて、子どもの立場に立って考えていきたいということをおっしゃっていました。その後、2月13日に県の女性校長会理事会有り、この取組について話をしたということです。

生理についてどれほど私たちが考えているのかということですが、女性は4週間に1回生理がやってきます。これは年間と言うと3カ月間です。これは大きなリスクではないでしょうか。生理の前はイライラしたり、熱が出たり、あるいは生理痛があつたりなど、大変なリスクではないかと考えております。現在、生理用品は良くなってきましたが、漏れ

<p>て洋服につくのではないかなど、心配をしながら1年の4分の1を生活しています。これが35年間、40年間続きます。こういう現実を考えたときに、この問題はもっともっと私たちが考えなければいけないと思いました。先ほど藤井理事長から、小学校4年生が万引きをしたというお話がありましたが、こういう問題の背景を考えるために必要なものは感性だろうと思います。</p> <p>そして、2つ目ですが、先日、藤井理事長から「ニュージーランド政府が18歳以下の女子に生理用品を無償配布する決定がありました」と言われました。</p> <p>資料2-1をご覧ください。『生理に関する「世界の取組」まとめ』です。まず1ページ目に韓国のソウル市議会が2019年11月29日に18歳までのすべての女性に生理用品を無償で支給するということがニュースで出ております。韓国の貧困率は、7.1%とのこと。ここで、すみれ学級のパンフレット20ページをご覧いただきたいと思います。子どもの貧困率が書いてありますが、韓国は7.1%で、低い方から数えて世界5位です。そして日本は、その倍以上の16.3%となっています。低い方から数えて25位となっています。それだけ多いにもかかわらず、今のところは、このことに特化した行政の取組はない状況です。また、韓国は先ほど言いましたように、18歳までのすべての女性に生理用品を無償配布する取組を1年以上前から行っています。</p> <p>次のページですが、ボストンでは公立学校で生理用品を無償配布、イギリスでは2019年9月から女子学生に生理用品を無償で配布しています。さらに、スコットランドは生理がある女性全員に生理用品を無償配布しています。このように、世界では次々取組が行われています。</p> <p>次のページですが、生理用品を軽減税率の対象にしてほしいという署名を女子大生たちが行っているというのが実態です。</p> <p>今日こうして皆様にお話させていただく機会がありましたが、行政が新しく何かを始めるといのは大変だと思います。そこでまず私たちが取り組めることをということで、校長先生方と連携しながら、生理用品の配布に取り組んでいるところです。</p> <p>最後になりますが、やはり行政の立場で考えますと、「生理用品だけ」とはいかないということは分かっています。しかし「生理用品だからこそ」という気持ちも是非ともご理解いただきながら、一刻も早い対応をよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>大分市は、待機児童対策など本当にスピード感を持って取り組んでいると思います。私は大分市民であることを誇りに思っております。しかし、少子化対策の1丁目1番地はこの生理用品の無償配布だと思いま</p>
--

	<p>す。女に生まれた故にこのリスクを背負う訳ですから、是非ともよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
<p>市長</p>	<p>藤井様、安部様貴重なお話しありがとうございました。</p>
<p>藤井氏</p>	<p>安部理事が報告しましたように、すみれ学級に来る子どもには、勉強が苦手な子もおり、大学生が指導する中、高校へ入学できるようになった子もいました。学生に「皆さんの力はすごいね」と話すと、学生からは「私たちは、1週間に2、3回、1回1時間ぐらいしか教えていないです。やっぱり学校の先生の力がすごいと思ひます」と答えました。こういうことが現場で起きていることを報告させていただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 それでは、ご意見、ご質問の前に、教育委員会の取組について、少し話をさせていただきますでしょうか。</p>
<p>教育監</p>	<p>大変貴重なご意見いただきましてありがとうございます。また、すみれ学級さんのご支援に対しまして深く感謝申し上げます。 現在、生理用品については、急に必要になった場合など、保健室において対応しているところですが、生理用品を含めて重要なことは、子どもたちが困っていること、悩んでいることを話しやすい環境づくりにあると思ひます。 学校では、月経を含めた2次性徴についての学習を体育科、保健体育科の授業や性に関する指導、宿泊研修の事前指導などにおいて行っているところですが、それを先ほど安部様がおっしゃった通り、男女一緒に行っておりまして、さらに充実を図るため、組織的に学校の教育活動全体の取組に努めているところです。 本日午後には、養護教諭を集めた後期研修会を開催する予定でありまして、その中でも生理用品についての指導を行う予定としております。お二人のお話にありましたように、この問題は、デリケートな問題であるとか、個人的な問題として捉えるのではなく、学校全体でより深く理解することによりまして、子どもたちに必要な支援を行って参りたいと考えております。 今後ともご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございました。 それでは、委員の皆様方ご自由にお願ひいたします。</p>

<p>古城（和）委員</p>	<p>まず、先ほど理事長さんがおっしゃいました学習支援に関しまして、すみれ学級と実際の学校との連携がどのようになっているかお聞かせください。</p>
<p>藤井氏</p>	<p>中学校との連携でいいますと、ある中学校では校長先生が、すみれ学級に直接連れてくるなど、案内してくれることがあります。勉強については大分大学経済学部の学生が教え、学校の成績に関係なく、自由な雰囲気の中で勉強しています。</p> <p>小学校との関係でいいますと、私たちが朝食を提供し始めたのは、ある小学校の校長先生との話がきっかけです。朝食を食べずに学校に来る子どもや給食の時間まで寝ている子どもがいるなど、朝食を提供してくれる場があればといった話を受けましたので始めました。6か月後、校長先生がいらっしゃって、不登校の子どもが減少したので、この取組を今後も続けてほしいと話がありました。</p> <p>以上のようなやりとりがありました。</p>
<p>市長</p>	<p>他に質問等ございますか。</p>
<p>古城（一）委員</p>	<p>貴重なお話をありがとうございました。教育委員を仰せつかっております古城一と言います。</p> <p>私は、会社を経営させていただく中で、SDGsに取り組みながら、大分を良くしていくため、2030年を見据えて活動させていただいております。今日は本当に勉強することばかりでございました。大変ありがとうございました。</p> <p>実は今、このSDGsの17の目標の1つである「貧困をなくそう」のために、どのようなお手伝い、お役立ちができるかということをお大分銀行様と打ち合わせをしている最中でございます。来月また打ち合わせがございますので、生理用品の件を含めたすみれ学級様の活動、そして市教育委員会とどのような連携ができるかということ等を必ず打ち合わせさせていただきたいと思っております。今日は大変参考になりました。経済界としても少しでもお役に立てればと思いながら拝聴いたしました。ありがとうございました。</p>
<p>安部氏</p>	<p>大分銀行様は、SDGsに積極的に取り組んでいらっしゃって、実は私CSR検定試験の大分県事務局の代表代行を仰せつかっておりますが、熊本の銀行では、多くの職員の方に受けていただいておりますが、大分</p>

	<p>県は多くはない状況です。このような中、大分銀行様は今後受験者が増えるように取組を進めているとのこと。</p> <p>SDGs についてですが、先ほど私がいずみ会のお話をしましたけれども、今年からいずみ会の活動方針に SDGs を初めて掲げました。今後がんばっていこうと思っております。</p> <p>この SDGs の 17 項目のうちの生理用品というのは、まさに目標 1 の「貧困をなくそう」に当たると思いますし、また、目標 3 「すべての人に健康と福祉を」、さらには、目標 4 の「質の高い教育をみんなに」にも当てはまると思います。私が小学校高学年のとき、女の子は生理が始まると成績が下がると言われました。それがとても悔しかったので、成績が下がらないように頑張りました。しかし、よく考えたら先ほどお話したとおり、年間の 4 分の 1 は生理のある暮らしをしています。私のように元気な人でも、生理前は熱が出ましたし、姉は 1 年に数回寝込むほどの生理痛がありますし、生理前はイライラしたりします。そういったものを背負う女の子のために、せめて生理用品くらいはいいものを与えて、心配なく勉強できるといいと思っています。SDGs はこういった問題も抱えておりますので、委員のお言葉はとても心強く思っております。是非ともよろしく願います。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。では、教育長願います。</p>
教育長	<p>まず、すみれ学級を運営していただいている藤井理事長様には、市内の子どもたちが大変お世話になっておりますことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>また、安部ノリ子先生には、すみれ学級ももちろんですが、いずみ会についても大変ご尽力いただいております、ありがとうございます。実は去年、いずみ会も関係があるかと思いますが、女性管理職の会の九州大会が大分で開かれる予定でしたが、新型コロナの関係で書面開催になりました。大変残念でございましたけど、また引き続きよろしく願いたいと思います。</p> <p>生理用品については、教育監が申し上げましたが、今保健室にストックを準備しており、必要に応じて配布という形で対応させていただいております。お二人がおっしゃっていただいた思いを共有するという点では、やはり性教育が重要ではないかと私は思っております。</p> <p>現在小学校 4 年生で第 2 次性徴を、中学校 1 年生では体の発達を扱っています。先ほどもお話がありましたけど、その中で男女ともにこういうことを学習していき、その上で、困っている子どもたちに生理用品が</p>

<p>市長</p>	<p>届くよう今後検討していきたいと思います。今生理用品は、保健室にありますけれども、それで十分かと言えば、まだまだ不十分なところもありますので考えていきたいと思います。</p> <p>それから大分市には、大分こども心理療育センター「はばたき」という施設と、児童自立支援施設である二豊学園という施設がございまして、新型コロナのときもマスク配布をさせていただきましたが、こうした施設とも今後連携を取って子どもたちが困らないようにしていきたいと考えております。今日貴重な意見を聞かせていただきましてありがとうございました。</p> <p>はい、議題1につきましては以上とさせていただきたいと思います。藤井様、安部様本当にありがとうございました。よろしく願いいたします。</p> <p>はい、続きまして、議事2「令和2年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>企画課長</p>	<p>企画課長の小野でございます。</p> <p>令和2年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」の関連事業についてご説明申し上げます。</p> <p>昨年5月に開催いたしました、第1回総合教育会議で、今年度の事業概要についてご説明しております。本日は、それらの取組の実績報告として、新規事業及び拡充事業を中心にご説明させていただきます。</p> <p>はじめに、資料3と書かれた令和2年度大分市教育大綱・大分市教育ビジョン関連事業の概要及び実績と書かれた資料をご覧ください。</p> <p>オレンジ色で示しております事業が新規事業でございます、水色で示しております事業が拡充事業でございます、緑色で示しております事業が継続の重点事業となっております。また、2ページの8番のように番号の下に（市）と記載した事業は市長部局の事業でございます。</p> <p>これらの事業につきましては、市長部局と教育委員会が連携しながら取組を進めておりますが、説明は、はじめに、教育委員会で所管する事業について説明したのち、市長部局で所管する事業を説明します。</p> <p>それでは、教育委員会の事業につきまして、教育総務課長から説明いたします</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育総務課長の高田でございます。</p> <p>教育委員会が所管する事業についてご説明申し上げます。</p> <p>はじめに2の新規事業の「イングリッシュアドバイザー派遣事業」に</p>

	<p>つきましては、教職経験又は外国語指導助手経験が豊富で実績がある退職教員等を「イングリッシュ・アドバイザー」として、小学校等に5名派遣し、指導力の向上を図ったところでございます。</p> <p>次に、3の拡充事業の「教科指導マイスター派遣事業」につきましては、退職教員を「教科指導員」として中学校に15名派遣し、指導力の向上を図ったところでございます。</p> <p>次に、6の拡充事業の「歯と口の健康づくり事業」につきましては、市立学校の全校でフッ化物洗口を実施する予定でございましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を延期しているところでございます。なお、歯磨き指導については、歯科衛生士会作成のDVDを活用し、小学校3年生、5年生、中学校1年生を対象に全校で実施したところでございます。</p> <p>続きまして、2ページをお開きください。</p> <p>10の拡充事業の「外国語指導助手招聘事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による新規来日者の遅延により、当初計画した37名体制とすることができず、合計17名を各学校に派遣しているところでございます。</p> <p>続きまして、3ページをご覧ください。</p> <p>12の拡充事業の「プログラミング教育推進事業」につきましては、全校にプログラミング教育用教材を配備したところでございます。また、先行実践校での成果を実践事例として示すとともに、オンラインによるプログラミング教育放課後セミナーを実施するなど、教職員の指導力の向上を図ったところでございます。</p> <p>続きまして、13の拡充事業の「特別支援等教育活動サポート事業」につきましては、補助教員を3名増員し、計126名に拡充したところでございます。</p> <p>15の新規事業の「不登校児童生徒支援事業」につきましては、生徒指導や教育相談に関する専門的な知識と技能を備えた退職教職員をスクールライフサポーターとして市内中学校及び義務教育学校に4名配置し、サポーターの支援により8割以上の児童生徒が年度当初に比べ所属学級で過ごす時間が増えるなどの成果が出ているところでございます。</p> <p>次に、16の拡充事業の「特別支援教育メディカルサポート事業」につきましては、8名の児童生徒が事業を利用しており、委託した訪問看護ステーションから看護師を派遣し、医療的ケアを行っているところでございます。</p> <p>次に、17の拡充事業の「日本語指導等支援事業」につきましては、11月末時点で23名の利用者に対しまして、講師や通訳を派遣するな</p>
--	--

<p>企画課長</p>	<p>ど、個に応じた指導や支援を行ったところでございます。</p> <p>次に、18の拡充事業の「奨学助成事業」につきましては、高校生等を対象とした返還の必要のない給付型奨学金となる「未来自分創造資金」について、令和2年度の募集定員を20名増員し、70名としたところ、86名の応募があったところでございます。</p> <p>続きまして4ページの方をご覧ください。</p> <p>23の新規事業の「(仮称)大在東小学校施設整備事業」につきましては、事業手法を検討するためのPFI等導入可能性調査を実施し、デザインビルド方式により事業実施することを決定したところでございます。</p> <p>次に、24の新規事業の「(仮称)賀来小中学校施設整備事業」につきましては、事業手法を検討するためのPFI等導入可能性調査を実施いたしまして、市の直営による従来方式により事業実施することを決定したところでございます。</p> <p>次に、27の新規事業の「学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業」につきましては、各種課題の整理・解決に向けた協議・検討を行うとともに、システム導入に係る公募型プロポーザルによる業者選定の手続きに着手したところでございます。</p> <p>続きまして5ページをご覧ください。</p> <p>28の拡充事業の「スクールサポートスタッフ配置事業」につきましては、年度当初に12名を配置しており、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図るための国の第2次補正予算によりまして、年度中途から61名の追加配置を行ったところでございます。</p> <p>33の新規事業の「関崎海星館施設整備事業」につきましては、「大分市関崎海星館施設整備基本構想」に基づき、新たに導入するプラネタリウムや更新予定の天体望遠鏡などの仕様を決定するための基本設計を実施しているところです。</p> <p>続きまして6ページをご覧ください。</p> <p>38の拡充事業の「おおいたナイトスクール事業」につきましては、新たに「国際科」を開講する中、大分の生活や文化、日本語についての講義を実施したところでございます。</p> <p>最後に、43の新規事業の「伝統芸能伝承師認定事業」につきましては、大分市指定無形民俗文化財の保持団体等から推薦のあった5名を11月19日付けで認定したところでございます。</p> <p>教育委員会の所管する事業についての説明は以上でございます。</p> <p>改めまして企画課長の小野でございます。</p>
-------------	---

	<p>続きまして、市長部局の関連事業についてご説明いたします。</p> <p>2ページにお戻りください。</p> <p>8の番新規事業「青少年国際理解推進事業」につきましては、今年度は対象学年を拡げ、11月にコンパルホールにて、「ワールドクエスト インおおいた～世界の仲間と謎を解こう！～」を初開催し、小学1生から6年生の68名が、ALTや留学生との国際交流を行うことができました。</p> <p>次に、9の新規事業の「オースチン市姉妹都市提携30周年記念事業」につきましては、8月の実施に向け調整を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の事業は中止といたしました。来年度は状況を見極めながら、実施可否の判断をしていくとともに、オンラインを活用した交流についても検討して参ります。</p> <p>次に、11の拡充事業の「ハーバード大学生との交流事業」につきまして、当初の予定では、対象を小学校5年生から中学校3年生までに拡大することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ハーバード大学生の来日がかなわなかったことから、対象を中学生のみとし、ハーバード大学生が本事業のために作成したレッスン動画によるスピーチの練習などを行いました。</p> <p>6ページをご覧ください。</p> <p>37の拡充事業「子どもの学習支援事業」につきまして、本助成事業の利用が可能な塾を今年度新たに13か所指定し、12月1日時点で197ヶ所となっております。また、本助成事業の決定者は、昨年同時期に比べ49人増加、延べ利用者数も44人増加しています。</p> <p>7ページをお開きください。</p> <p>47の新規事業の「トップアスリート育成・支援事業」につきましては、新型コロナウイルスの影響により、国内外における大会合宿等が行われなかった競技が多く、補助申請者は2名となっております。</p> <p>次に、48の新規事業の「駄原総合運動公園トレーニング施設整備事業」につきましては、今後、同球技場がナショナルチーム等のキャンプ地として利用されるよう、常設のトレーニング施設を公園内に設置しました。9月から一般供用を開始し、市民の皆様をはじめ、ラグビーや自転車競技のキャンプにおいても活用されております。</p> <p>次に、49の新規事業の「スポーツコミッション推進事業」につきましては、自転車や、ラグビーのチームなどの誘致したところがございます。</p> <p>事業の実績報告につきましては、以上でございますが、引き続き事業実施にあたりましては、市長部局と教育委員会が十分に連携を図りなが</p>
--	--

<p>市長</p>	<p>ら、教育大綱、教育ビジョンの取組をしっかりと推進してまいります。 議事2、令和2年度「大分市教育大綱・大分市教育ビジョン」関連事業についての説明は以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございました。 広範囲に及ぶ2年度の報告でございました。それでは、委員の皆様からご意見をいただければと思います。</p>
<p>上杉委員</p>	<p>説明ありがとうございました。 2ページ目の8番「青少年国際理解推進事業」ですが、かなりの応募者があり、抽選に漏れる数の方が多い状況ですので、回数や場所などを工夫して、より多くのお子さんが参加できるようにしていただければと思います。</p>
<p>国際課長</p>	<p>国際課の渡邊でございます。今ご指摘いただきました青少年国際理解推進事業につきましては、ワールド・クエスト・イン・おおいたということで、今年初開催したものでございます。新型コロナ対策のため、各学年の人数を決めた上で、最大限その日にできる回数を検討し、今回は3回実施しました。募集人数として72名を募集しましたが、応募は441名と大変多くの方に応募していただいたところでございます。 今年度は新型コロナ対策のため、人と人との間隔を開けなければならないといったことを考慮した結果、この人数が精一杯でした。来年度につきましては、しっかりと考えていきたいと思っています。</p>
<p>市長</p>	<p>はい、ありがとうございました。他にございますか。</p>
<p>岡野委員</p>	<p>3ページの18番「奨学金助成事業」についてですが、今年度20名増員したものの応募の方はそれ以上あったとのことですが、新型コロナの関係で貧困問題などが懸念されており、奨学金の要望が多いと思いますので、今後できる限り対処していただければと思います。</p>
<p>学校教育課参事</p>	<p>給付型の奨学金の未来自分創造資金につきましては、年々応募が多くなっている状況でありますので、状況を鑑みながら、来年の定員の方を検討しているところであります。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
<p>市長</p>	<p>他にございますか。はい、お願いします。</p>

古城（和）委員	<p>一昨日、全国の教育委員の研修会があり、分科会に分かれて各教育委員会の現状について協議しました。その中で、3ページ15番の「不登校児童生徒支援事業」について少しご紹介したのですが、他の分科会のメンバーの中では、こういった取組は無かったとのことでした。スクールライフサポーターの活動が、不登校に対して効果があるという感触を私も得ておりました、そういった主旨のことを話しました。素晴らしい取組ですので、これからも拡充していったらどうかと思っています。大分市の施策の目玉になるような取組の1つになるのではないかと考えております。以上です。</p>
学校教育課参事	<p>ありがとうございました。学校の報告によれば、「相談室を設置することによって普段なかなか学校に行けない子どもが学校に来ることができるようになった。教室に復帰出来るようになった。」という声も聞かれていますので、今後の事業の拡充について検討して参りたいと考えております。以上であります。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。他にいかがでしょうか。</p>
古城（一）委員	<p>3ページ12番「プログラミング教育推進事業」についてですが、ご存知の通り世界各国がプログラミング教育を小学生のうちから行っております。この事業は教育ビジョンの「社会の変化への対応」の部分に入っていますが、まさにそのとおりであります。是非、新年度においても引き続きこのプログラミング教育には力点をさせていただきたいと考えております。以上でございます。</p>
教育センター所長	<p>今年度小学校において実施されるようになりましたが、今後もICT支援員等を活用することにより、より効果的な授業を行えるよう努めたいと考えております。ありがとうございます。</p>
古城（一）委員	<p>はい、是非よろしく願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>2ページの11番「ハーバード大学生との交流事業」についてですが、この事業は大変面白いなと思いました。今年は残念ながら予定通り実施出来なかったようですが、3年度以降もこれは継続して行われるのでしょうか。別にハーバード大学にこだわる必要はないと思うのですが、継続性についていかがでしょうか。</p>

国際課長	<p>国際課の渡邊でございます。ハーバード大学生との交流事業につきましては、今年度ハーバード大学生の来日が叶わなかったということで、募集人数として100人定員だったのですが、応募者が少なく、さらに、当日参加できない子もいらっしゃいました。来年度につきましても継続してやっていきたいと考えておりますし、来日できなかった場合や参加できなかった子どもたちのために、ICTを活用した交流等、さまざまな方法を考えていきたいと思っております。</p>
市長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>この事業が始まるきっかけは、資料に記載の廣津留さんという方が、ハーバード大学に行った時に友達の学生をたくさん連れて大分に帰ってきたことがきっかけで、サマーインジャパンというイベントを行っています。それと並行して、大分市が中学生を募集して事業を行っているという状況です。あと国東市でも同様の事業が開催されており、ハーバードとスタフォードの学生などを連れてきているというイベントです。今年度はオンラインで開催されたのですか。</p>
国際課長	<p>サマーインジャパンの方はオンラインで行われました。私どもはオンラインではないのですが、ハーバードの学生に動画を作成していただきまして、その動画を見ながらスピーチの練習をし、廣津留すみれさんに直接ご指導いただくという形で実施しました。</p>
市長	<p>非常にいいプログラムだと思いますので、是非また続けていただけるとありがたいと思います。</p> <p>他にございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>本日扱った生理用品の問題を含めた貧困対策、そして教育大綱・教育ビジョンの実績報告につきましては、いただきましたご意見を踏まえましてまた取組を充実させていきたいと思っております。</p> <p>今日は誠にありがとうございました。改めまして、藤井様、安部様ありがとうございました。</p>
企画部長	<p>はい、ありがとうございました。以上をもちまして、令和2年度第6回大分市総合教育会議を終了いたします。今年度はこれが最後となります。来年度の開催日程等につきましては、事務局で調整させていただき改めてご連絡いたします。皆様、本日は誠にありがとうございました。</p>